

観光地魅力度調査報告書

令和4年10～12月

～湯村温泉版～



公益社団法人ひょうご観光本部
Hyogo Tourism Bureau



調査目的	観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の顧客データを収集、地域ごとの訪問客の属性等の傾向を分析し、地域における観光商品やサービスに対する評価を踏まえ、今後の対策に活かすことを目的とする。
調査地域	湯村温泉
調査対象者	調査地域を訪れた観光客、宿泊客
サンプル数	210
調査手法	QRコードを媒介としたインターネット調査
調査期間	2022年10月～2022年12月
特記事項	

《居住地》

- ・ 前回の調査結果と比較すると、但馬地域の旅行者の割合が2 %から11 %に増加した。

《旅行目的》

- ・ 「グルメ」を目的とした旅行者が「温泉に入ること」を目的とした旅行者を上回った。

※旅行消費額については調査方法調整中のためコメントは省略。

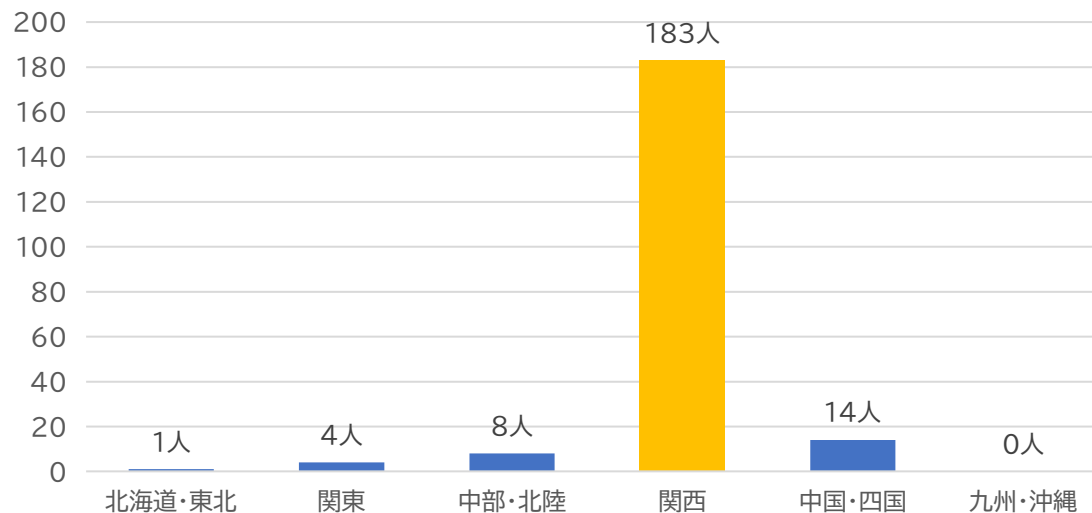
回答者属性

居住地



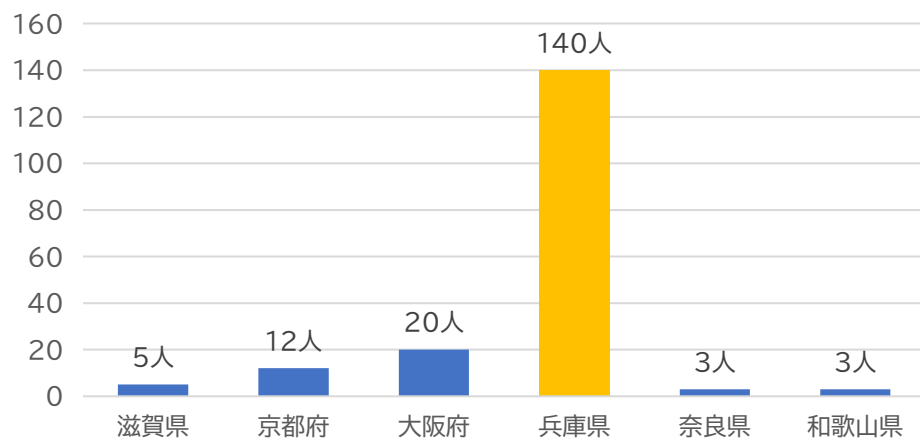
居住地

N=210



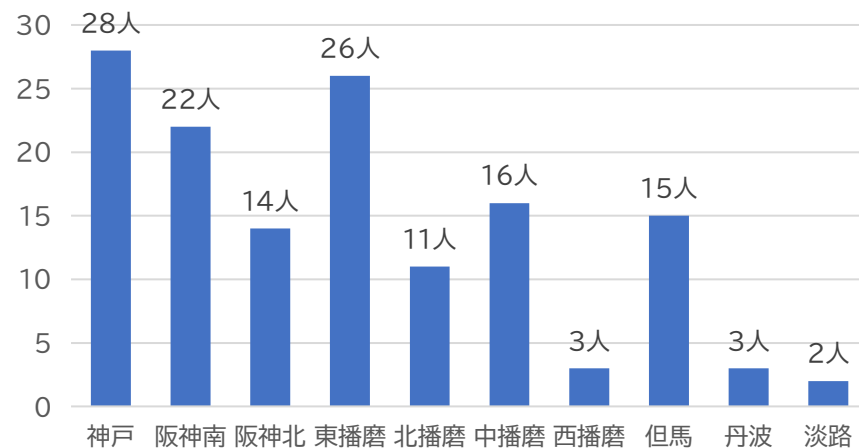
居住地(うち関西)

N=183



居住地(関西のうち兵庫県内)

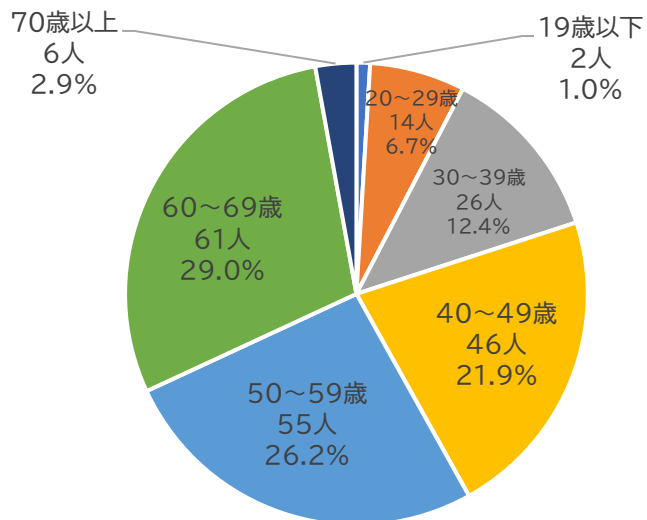
N=140



年齢・性別

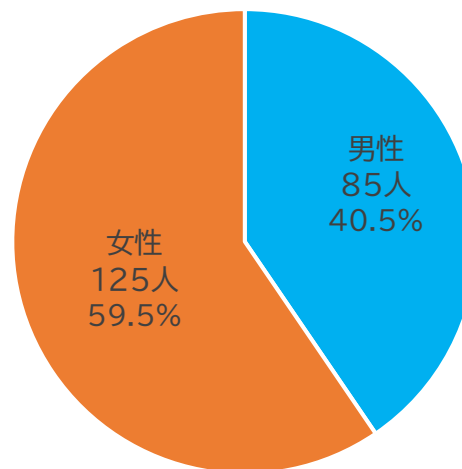


年齢



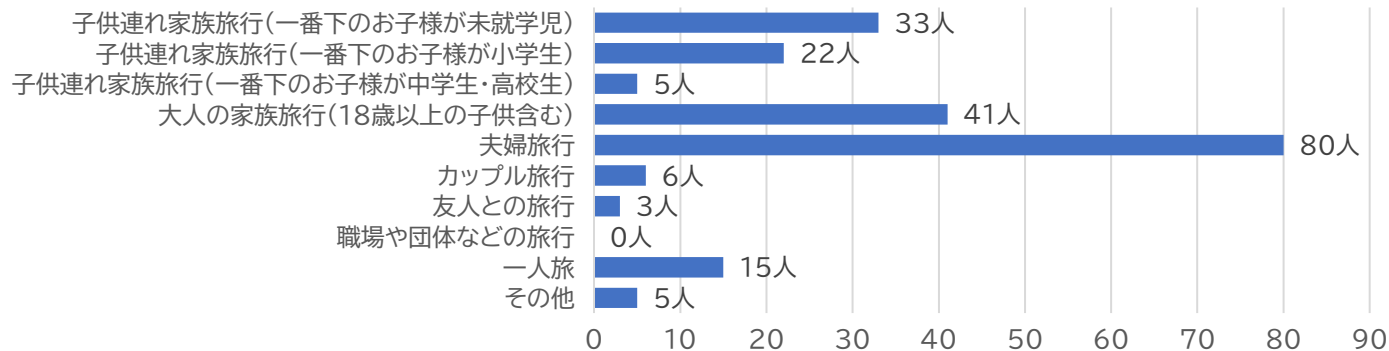
N=210

性別



N=291

同行者



N=210

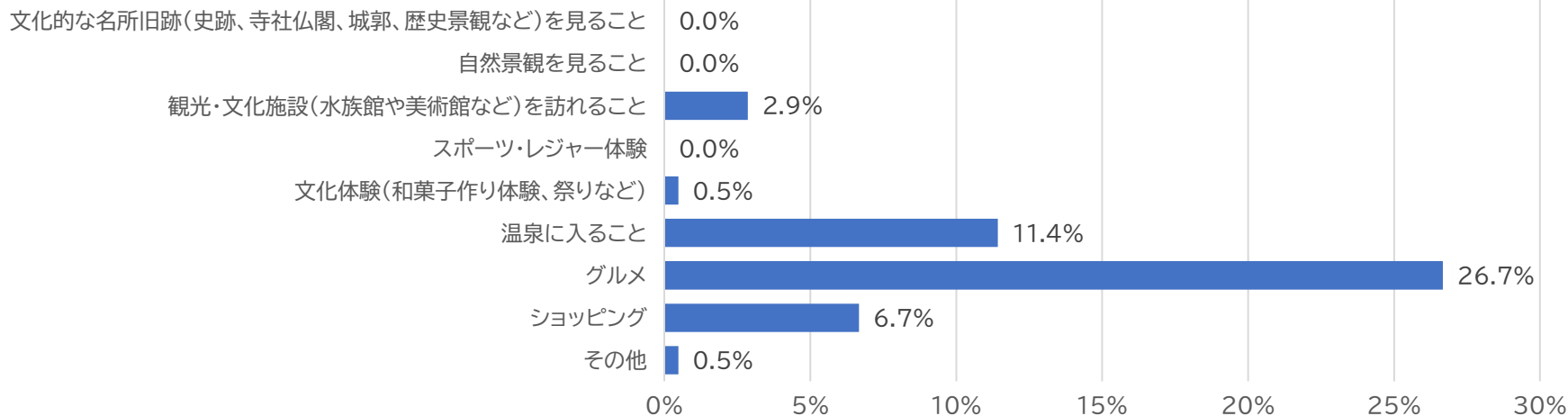
調查結果

旅行目的・体験したコンテンツ



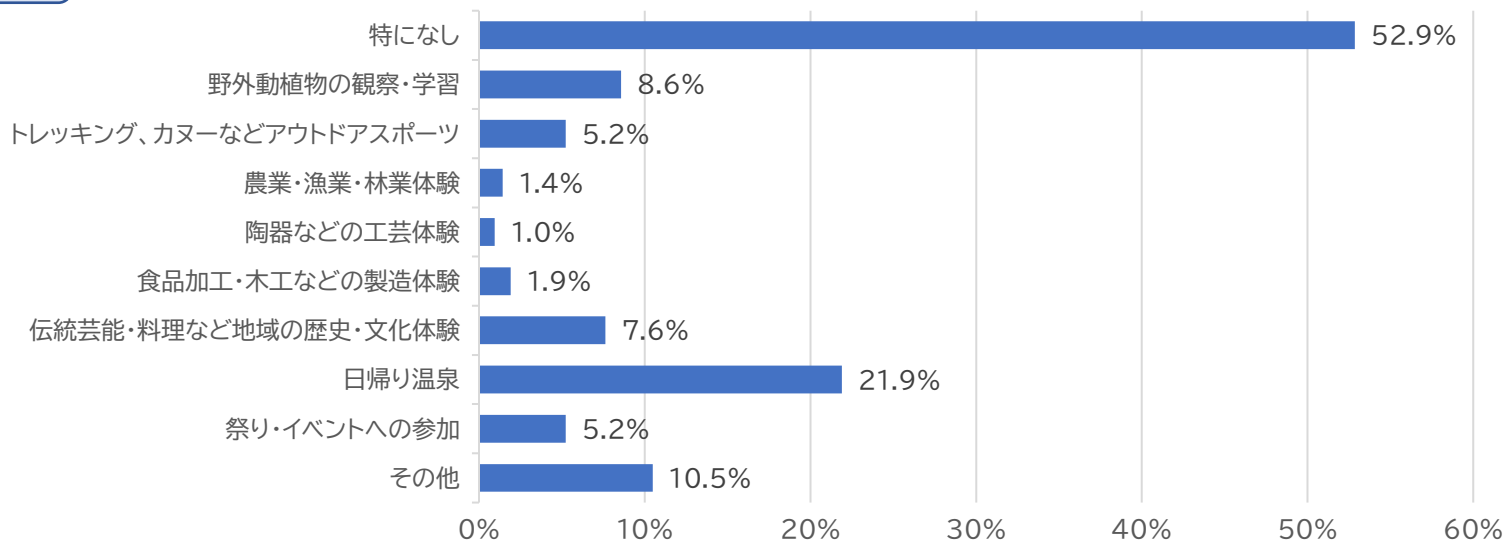
旅行目的

N=210



体験したコンテンツ

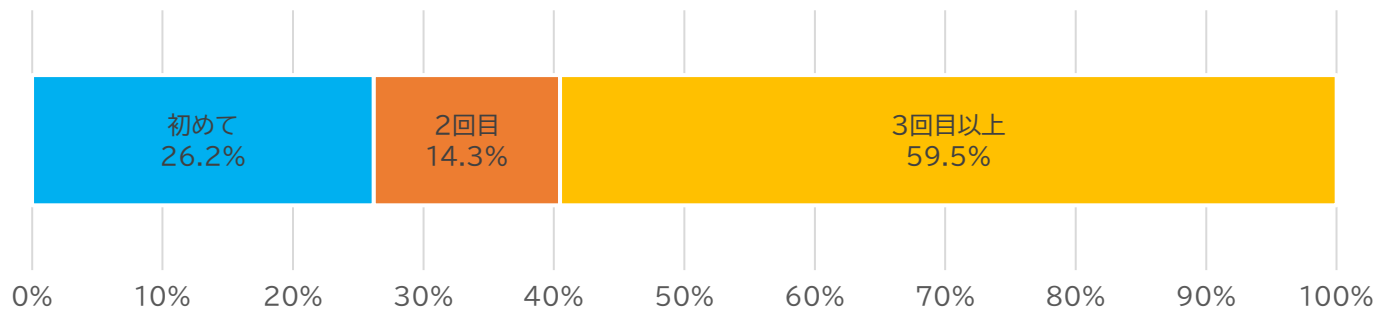
N=210



リピート率・消費額①

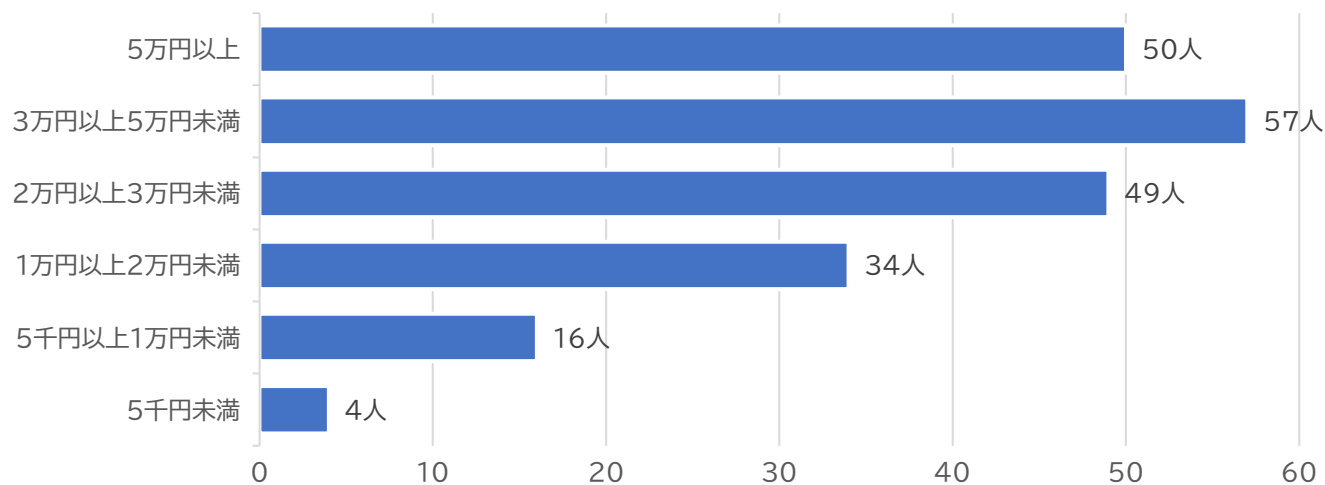


リピート率



N=210

消費額

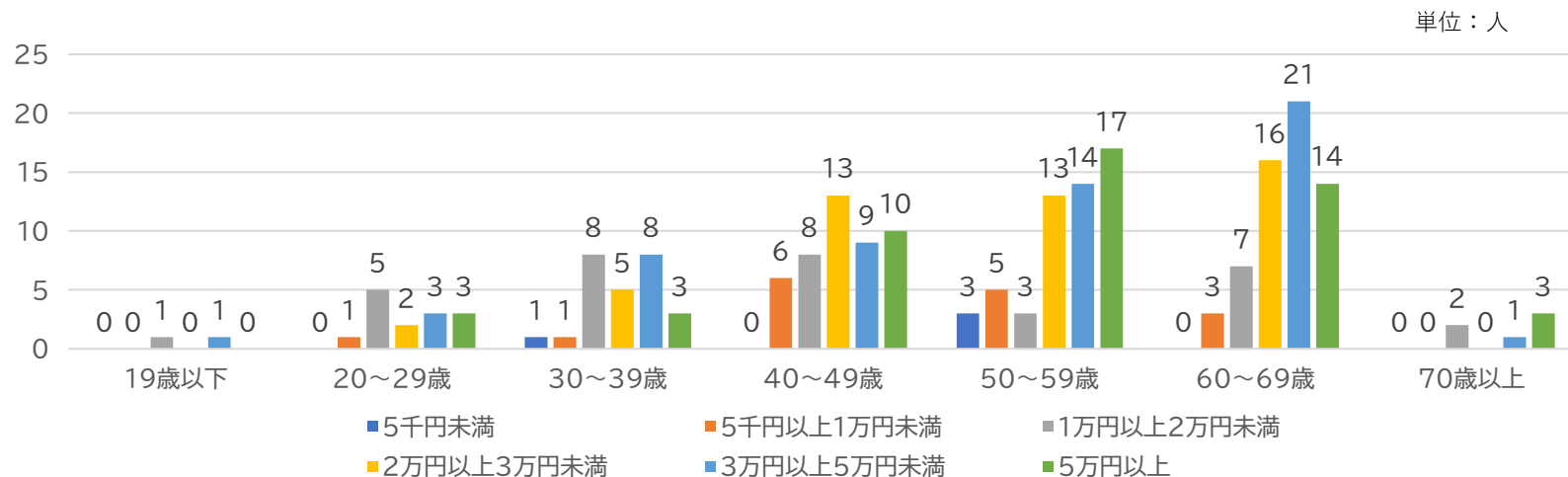


N=210

リピート率・消費額②

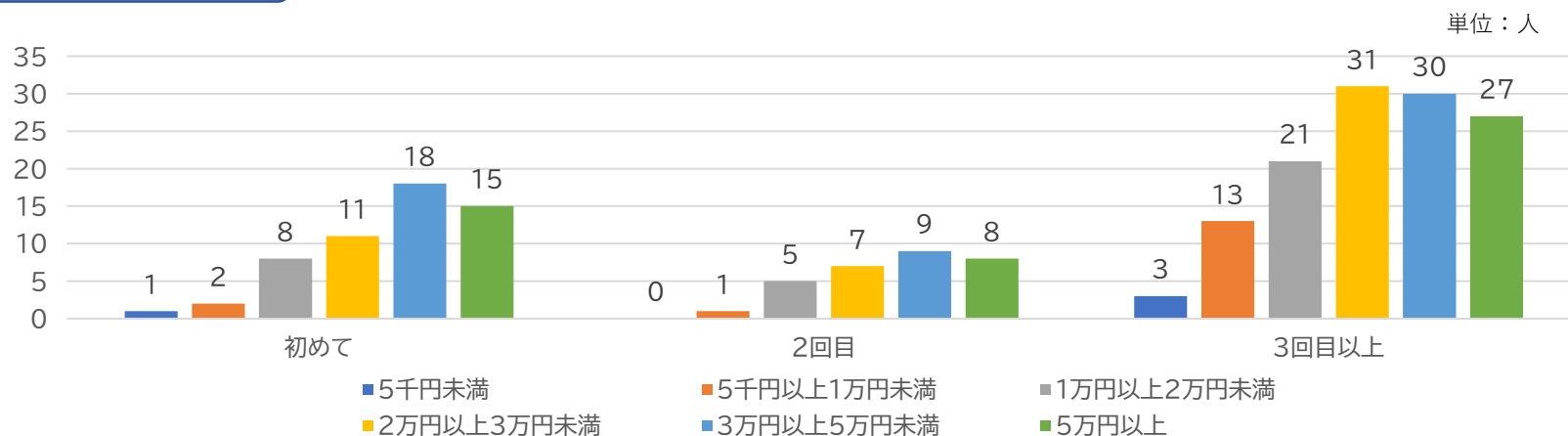


消費額×年代



N=210

消費額×リピート率



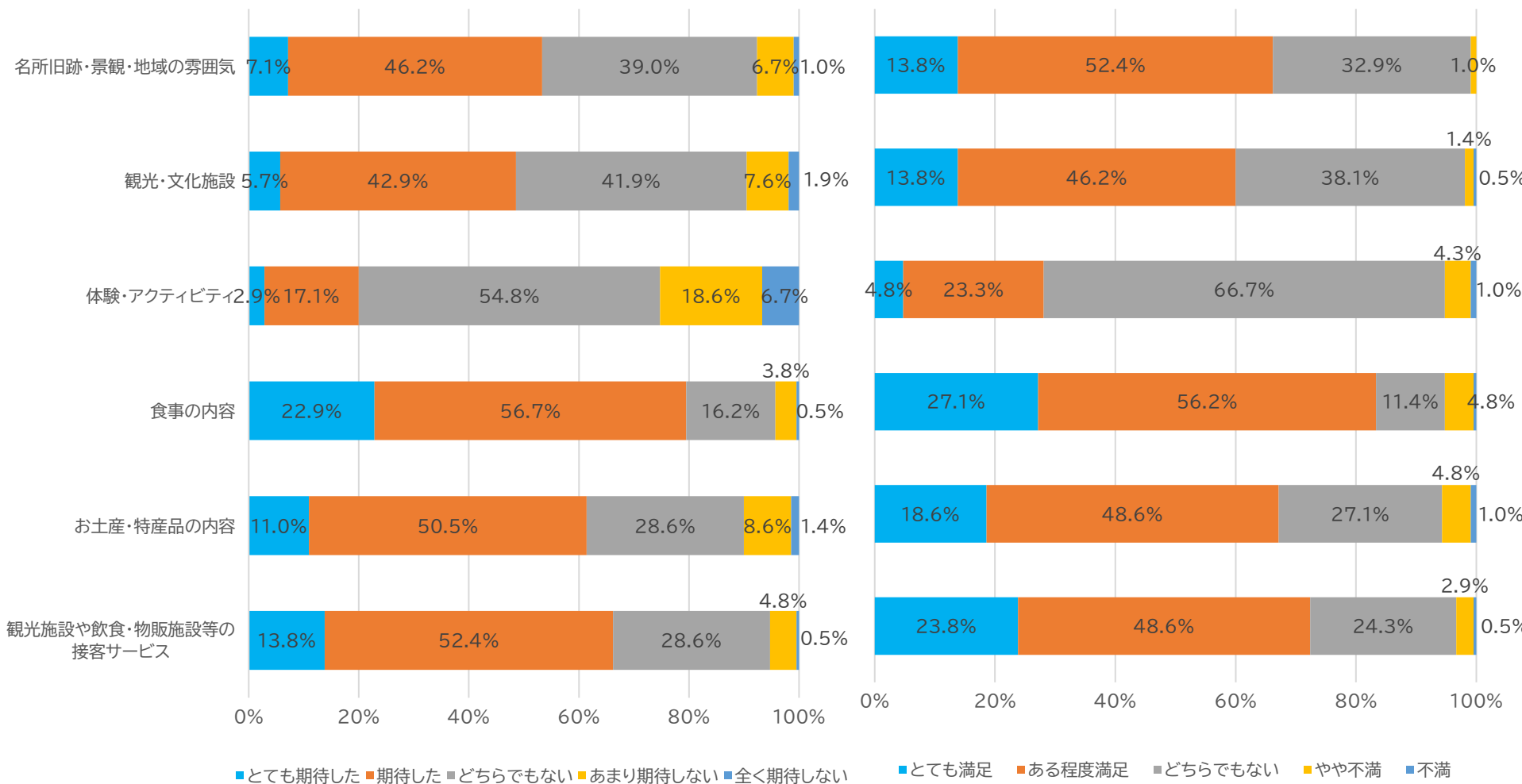
N=210

地域への期待度・地域の満足度



期待度

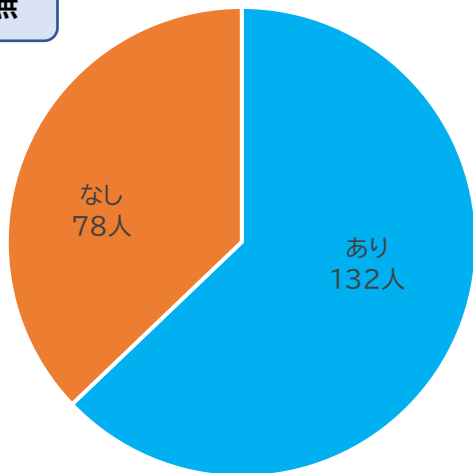
満足度



周遊の有無・周遊先

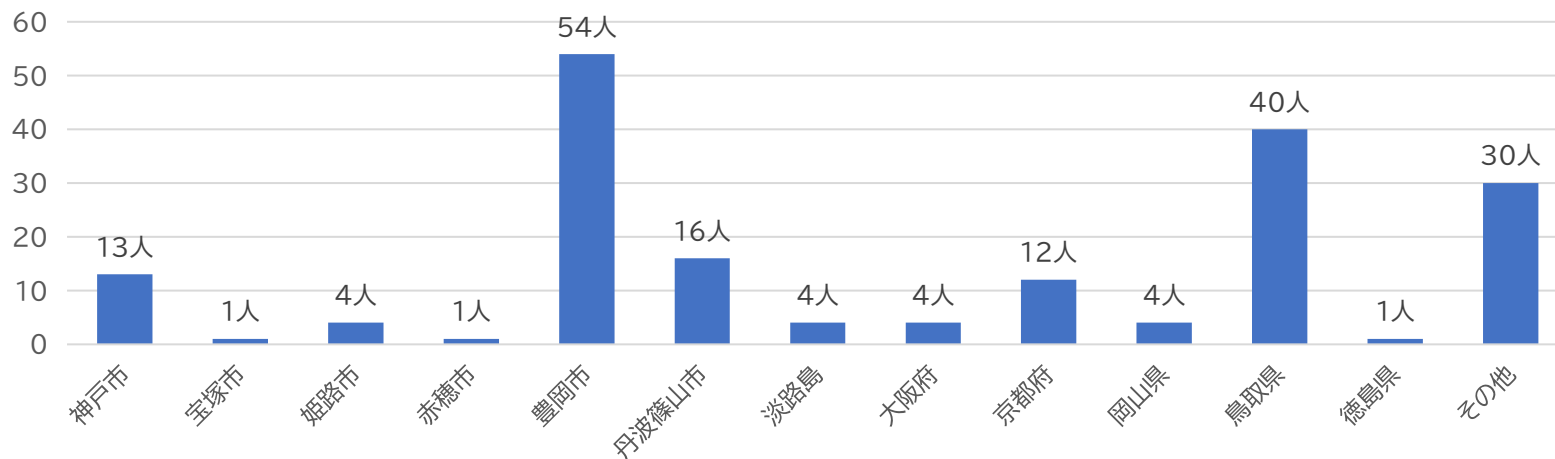


周遊の有無



N=210

周遊先

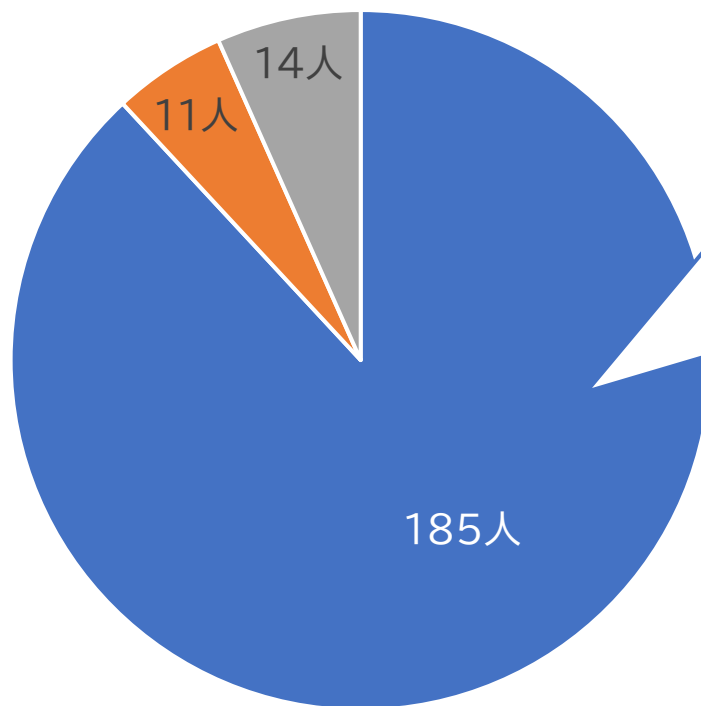


N=132

宿泊の有無・宿泊目的

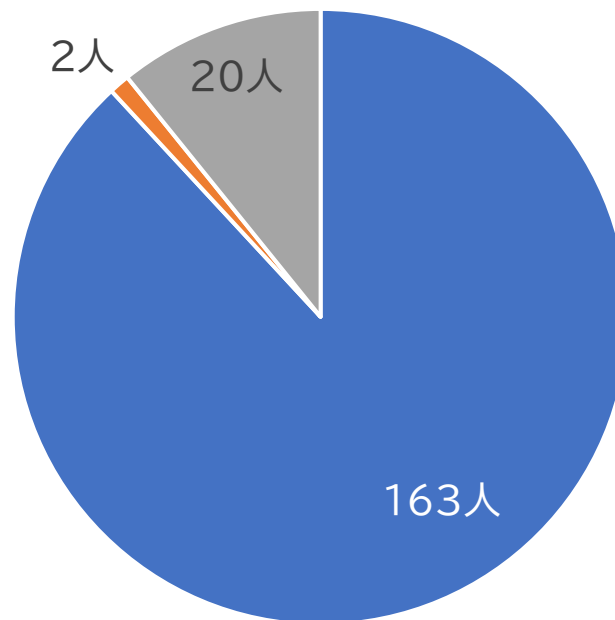


宿泊の有無



- 宿泊あり(湯村温泉地域内での宿泊を含む)
- 宿泊あり(湯村温泉地域内では宿泊しない)
- 宿泊なし(日帰り旅行)

宿泊目的



- 観光
- ビジネス
- その他

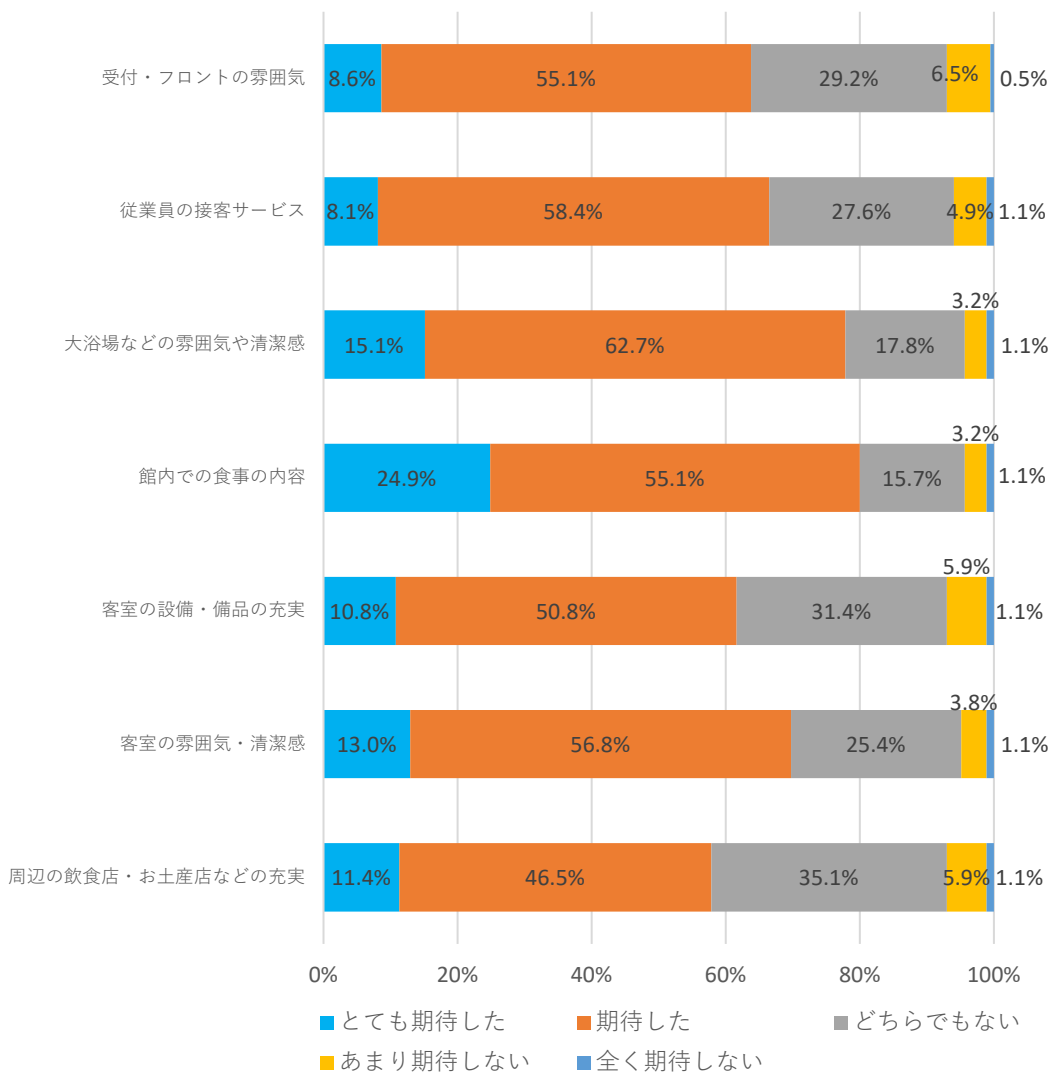
N=185

N=210

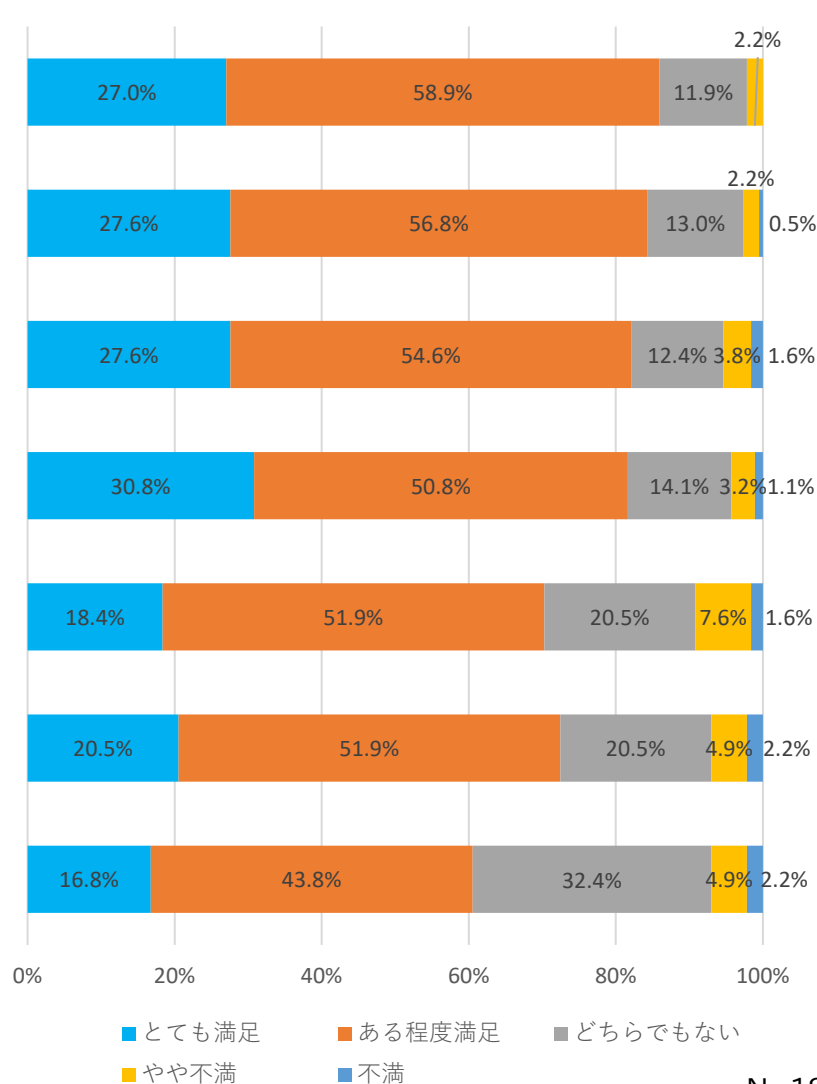
宿泊施設への期待度・宿泊施設の満足度



期待度



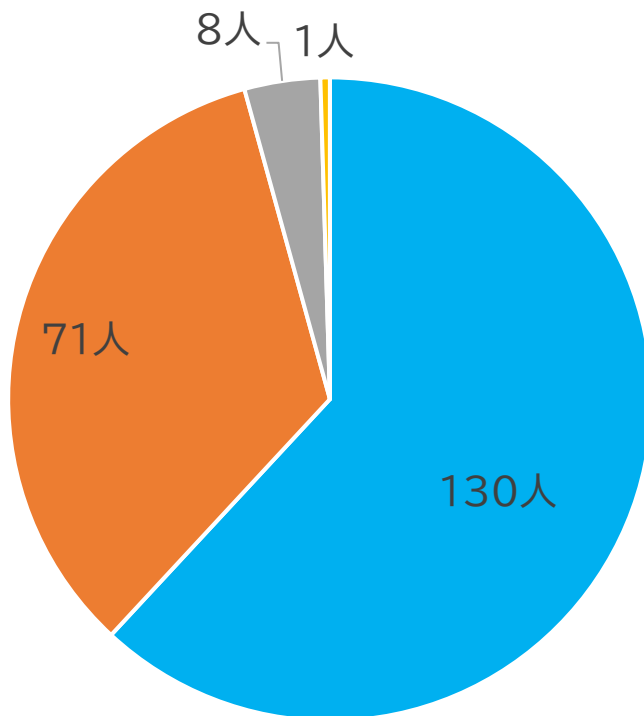
満足度



再訪意向



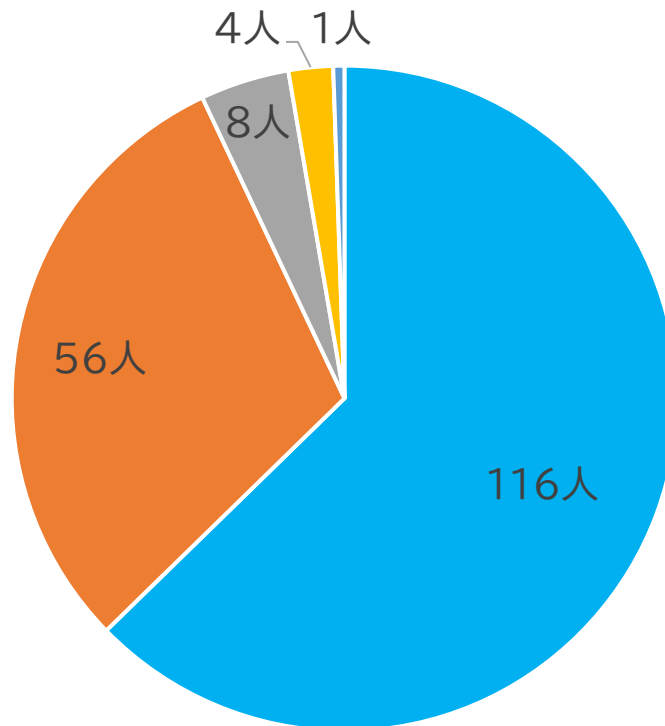
地域への再訪意向



- ぜひまた訪ねたい
- 機会があれば訪ねたい
- どちらでもない
- あまり訪ねようとは思わない
- 訪ねたくない

N=210

宿泊施設への再訪意向



- ぜひ利用したい
- 機会があれば利用したい
- どちらでもない
- あまり利用しようとは思わない
- 利用しない

N=210